

あま〜いニンジンをつくろう

栽培のポイント

●水の出し入れができる土作り！

ニンジンのは、発芽するまではたくさん水が必要ですが、発芽した後はやや乾燥した状態を好みます。また、急激な過湿や過乾燥はくびれの原因となりますので、排水性と保水性、土の緩衝力が大切です。きちんと土作りをすると水の出し入れができるようになり、くびれを抑制できます。

●チッ素肥料の与えすぎに注意！

股割れの原因の一つが未熟有機物。早めにバクヤーゼやバクヤーゼKを使って未熟有機物をしっかりと分解しておきましょう。

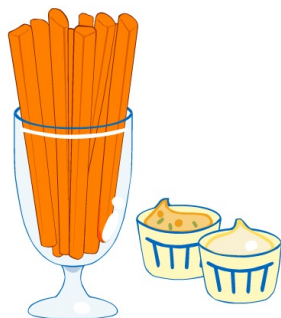
●光合成が進むと甘くなる！

ニンジンは光合成で作る炭水化物の量が多い野菜です。
リン酸で光合成を促進させると、発色・味が一段と良くなります。



ニンジンの施肥提案（1 a = 30 坪）

肥料名	元肥	追肥 間引きが終わる頃	葉面散布 収穫 30 日前～収穫まで
MリンPK	2 kg	2 kg	P フォスタ 500 倍液を 3～5 日おきに 2～3 回葉面散布
バクヤーゼK	20 kg		
NK化成		1～2 kg	



硬く強く育てるために
しっかりリン酸を
効かせよう！

MリンPKが効いていると
地上部はやや小ぶりですが、
地下部は大きくなるので大丈夫！

①発芽のコツ

夏に植えるニンジンはなかなか発芽しません。
発芽するまでは水を切らさないようにしましょう。
播種した上から踏んで圧をかけると、乾燥しにくくなります。

②土寄せのコツ

ニンジンの実(根)は日が当たると緑化します。間引きをした時は株元へ土寄せするようにしましょう。また、生育調整の時など、小まめに土寄せするとよいでしょう。



小さな葉でもリン酸を効かせられれば
しっかり光合成して肥大します